

2013 REPORT

千葉興業銀行レポート

ミニ・ディスクロージャー誌

第91期 営業のご報告

平成24年4月1日～平成25年3月31日

目次

ごあいさつ・企業理念	2
経営方針	3
営業の概況	4
地域コーナー	9
・CSRの取組み	11
トピックス	16
財務諸表	19
役員・株式の状況	21

当行の概要 (平成25年3月31日現在)

設 立：昭和27年1月
本 店：千葉市美浜区幸町二丁目1番2号
資 本 金：579億4,189万3,949円
従業員数：1,239名



[ちば興銀は、次世代認定マークを
取得しています。]

ごあいさつ



平素より、千葉興業銀行をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。

平成24年度の当行の経営内容や業績、CSRの取組み等につきまして、ミニ・ディスクロージャー誌にまとめました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

さて、最近の経済状況を鑑みると、中小企業を取り巻く経営環境には依然として厳しさが残るものの、県内経済においては一部に持ち直しの動きが見られ、今後の本格的な回復も期待されるところであります。当行は、千葉県経済の力強い回復に向けて、地域金融機関としての役割を果たすべくさまざまな取組みを行ってまいります。

現在当行は、平成25-27年度の新中期経営計画「変革・成長戦略“2nd Stage”」に基づく戦略施策を積極的に展開しております。「地域の お客さまの ベスト・コンサルタント」となるべく、さらには「選ばれ続け、地域・お客さまになくってはならない絶対的存在感のある銀行」をめざし、当行グループの総力を結集して業務に邁進していく所存です。

今後とも、より一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成25年6月

取締役頭取・CEO **青柳俊一**

企業理念

地域とともに

私たちは、地域とともに歩む銀行として、人々の幸せを求めて、豊かなふるさとづくりに努めます。

お客さまのために

私たちは、積極的にお客さまのニーズに応え、創造性を発揮し、より質の高いサービスの提供に努めます。

「親切」の心で

私たちは、心のふれあいを大切にし、自己を磨き、親切ナンバーワンをめざします。



経営方針

平成25-27年度の3年間においては、前中期経営計画に基づく取組みを礎とし、当行のビジョン実現に向けた新たな中期経営計画「変革・成長戦略“2nd Stage”」を展開しております。当行のめざすべき姿である「地域のお客さまの ベスト・コンサルタント」の実現に向けた「挑戦」と「攻め」のステージと位置づけ、より一段と地域・お客さまのお役に立ち、ともに成長を持続していくための強固な経営基盤の構築と新たな「ちば興銀」の確立をめざし、全行一丸となり取組んでまいります。

企業理念 地域とともに お客さまのために 「親切」の心で

選ばれ続け、地域・お客さまになくてはならない 絶対的存在感のある銀行

地域の お客さまの ベスト・コンサルタント

平成25-27年度「変革・成長戦略“2nd Stage”」

“コア顧客を支柱とした顧客基盤の再構築”

効率性・生産性革新

- 営業店BPRによる営業活動の効率性・生産性の向上
- システム化推進による業務改善と省力化推進
- 営業支援システム・ツールの充実
- 行内分散情報の連動・整備と資産化

収益力・収益構造革新

- 顧客ニーズ基点の営業態勢
- 全行連携での充実したコンサルティング機能の発揮
- 法個人一体取引の推進
- 個人営業強化体制の展開
- マーケット・シェアの拡大

組織力・人材革新

- コンサルティング能力の高い人材の育成・養成
- 人材ポートフォリオの再構築
- 人事諸制度・雇用制度見直し
- 「考え行動する」「挑戦する」人材・組織への転換
- 地域活性化・CSRへの取組み

財務基盤の強化 リスク・マネジメント強化

平成23-24年度「ちば興銀“変革・成長”戦略」

顧客ロイヤルティ向上

営業の概況

グラフ等に記載の計数および解説文中の計数は単位未満切捨て表示となっております。

預金・貸出金の状況 ～預金・貸出金は順調に推移～

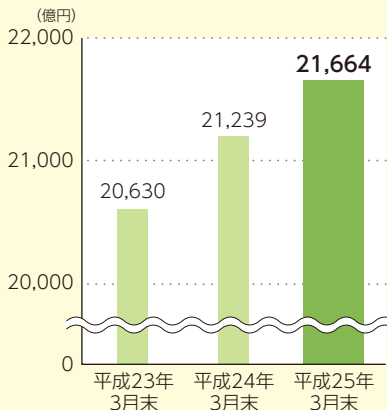
当期末の総預金残高は、平成24年3月末比424億円増加の2兆1,664億円となりました。特に、個人預金については、「千葉ロッテマリーンズ応援団定期2012」等がご好評をいただき、平成24年3月末比368億円の増加となりました。

また、お客さまの資産運用ニーズにきめ細かく対応した結果、投資信託の取扱いは増加いたしました。単位型投資信託の償還等の影響もあり、投資信託残高は平成24年3月末比94億円減少し、1,040億円となりました。一方、年金保険等の残高は、平成24年3月末比207億円増加の1,105億円となりました。

当期末の貸出金残高は、コンサルティング機能の強化に努めるとともに、県内資金需要に積極的にお応えした結果、平成24年3月末比425億円増加の1兆6,587億円となりました。住宅ローン残高については、引続き住宅販売会社等との連携強化と、相談会開催等によりお客さまの借換えニーズに積極的に取組んだ結果、平成24年3月末比262億円増加の5,452億円となりました。

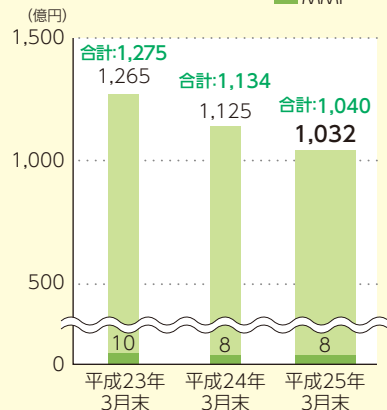
総預金残高

※総預金残高には譲渡性預金を含めております。

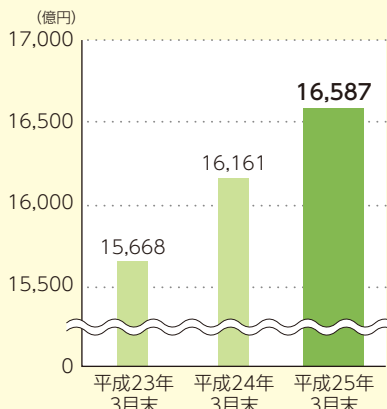


投資信託残高

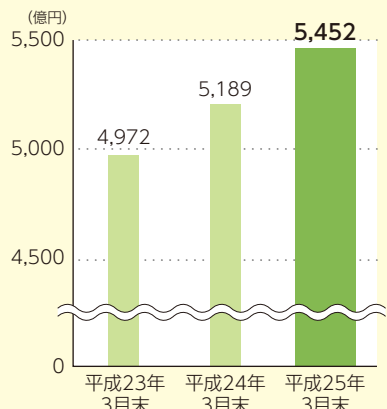
株式投信
MMF



総貸出金残高



住宅ローン残高



損益の状況

預金・貸出金残高は順調に増加したものの、金利低下を要因とする預貸金収益の減少により資金利益は減少となりました。一方、投資信託や年金保険の取扱い等が増加したことで役務取引等利益が増加となり、また国債等債券関係損益の増加や経費の減少により、業務純益（一般貸倒引当金繰入前）は135億72百万円と前期比17億83百万円増加となりました。コア業務純益^(※)は前期比2億74百万円増加し、119億56百万円となりました。

与信関係費用について、一般貸倒引当金繰入額と不良債権処理額の合計である貸倒償却引当費用は前期並みとなりました。

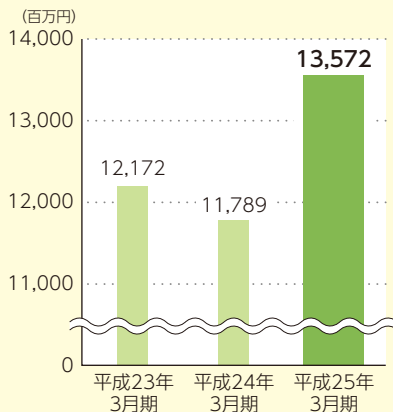
経常利益は、新株発行費用や信託受益権償却などが発生しましたが、株式等関係損益の改善や償却債権取立益の増加等により前期比11億45百万円増加の101億77百万円となりました。

なお、税制改正等の影響により法人税等合計が前期比5億円増加、当期純利益は前期比5億49百万円増加の82億65百万円となりました。

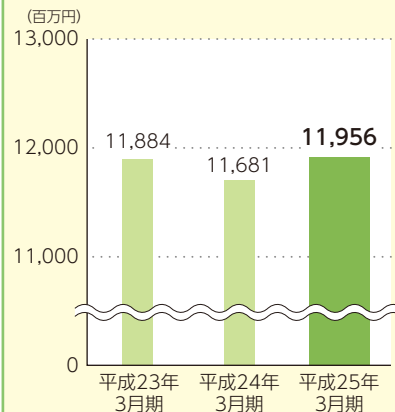
※コア業務純益

業務純益から一般貸倒引当金繰入額、国債等債券関係損益を除いて算出しております。

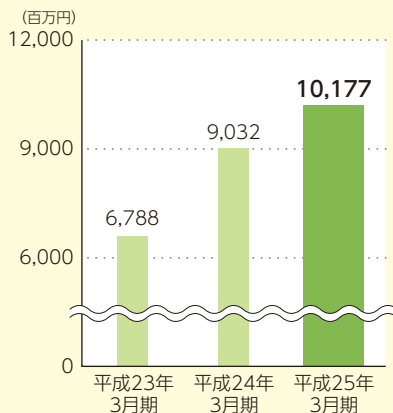
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）



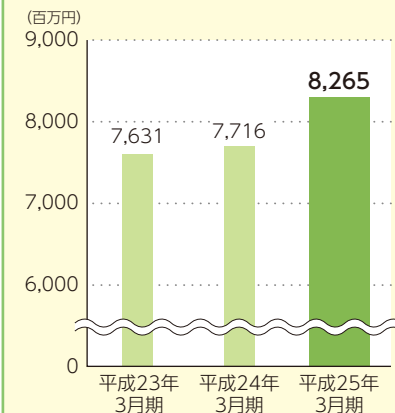
コア業務純益



経常利益



当期純利益

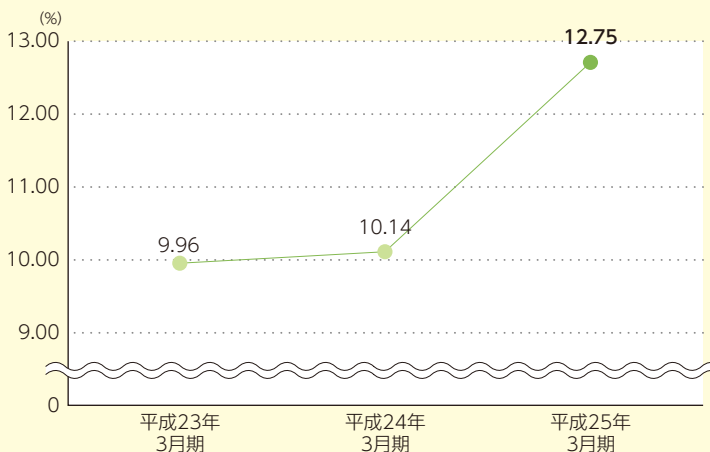


自己資本比率等

平成25年3月末の自己資本比率は、第四回第四種優先株式による第三者割当増資の実施や当期純利益82億円の計上等による基本的項目の増加などにより、平成24年3月末比2.61ポイント上昇し、12.75%となりました。

また、経営の効率性を示す経営指標であるコアOHR^(※1)は、経費の減少により、0.79ポイント改善し66.76%となりました。また、収益性の高さを示すROA^(※2)は、コア業務純益・総資産ともに増加した結果、前期並みとなりました。

自己資本比率



※1 コアOHR

(経費対コア業務粗利益率=経費÷コア業務粗利益(除く国債等債券関係損益)×100)

一定の業務粗利益を得るために、どの程度経費がかかっているかを表す指標で、値が小さいほど経営の「効率」の高さを示しています。

※2 ROA《コア業務純益ベース》

(総資産利益率=コア業務純益÷総資産期中平残(除く支払承諾見返)×100)

投下された総資産が利益(コア業務純益)を得るために、どの程度効率的に利用されているかを表す指標で、値が大きいほど経営の「収益性」の高さを示しています。

自己資本比率算定明細表

(単位:%・百万円)

	平成24年3月末	平成25年3月末
1.自己資本比率	10.14	12.75
2.基本的項目	127,223	166,613
3.補完的項目	8,255	7,430
(イ)うち自己資本に計上された再評価差額	—	—
(ロ)うち劣後ローン残高	5,500	5,000
4.控除項目	193	190
5.自己資本 2+3-4	135,285	173,853
6.リスクアセット	1,334,005	1,363,446
うちオン・バランス	1,243,046	1,273,890
うちオフ・バランス	22,383	21,421
うちオペレーショナルリスク	68,575	68,134

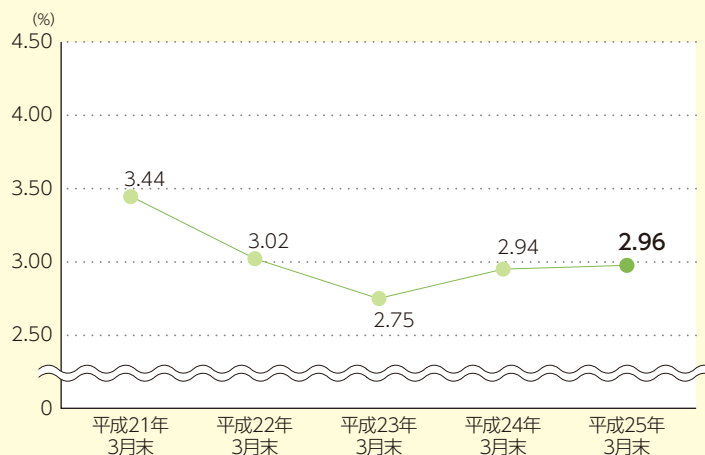
経営改善支援への取組み等

当行では、全営業店に「ご返済相談窓口」を設置し、またローンプラザ等にて休日相談に対応する等、お取引先の資金繰り下支えに努めてまいりました。また、お取引先企業の経営課題の把握・分析を踏まえ、適時に最適なソリューションを提案する等、コンサルティング機能の発揮により、経営改善・事業再生支援に積極的に取り組んでまいりました。

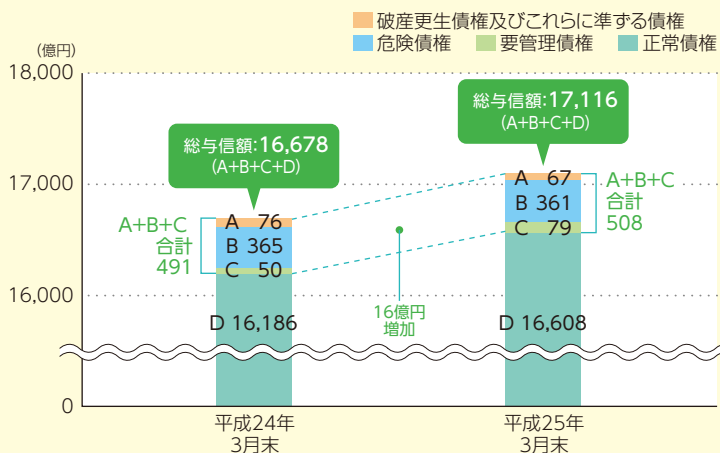
県内中小企業にとって厳しい経営環境が続くなか、平成25年3月末の金融再生法における開示債権額は平成24年3月末比16億円増加の508億円となりました。総与信に占める割合（開示債権比率）は、平成24年3月末比0.02ポイント上昇し、2.96%となりました。

今後も経営コンサルティング会社等外部専門機関の活用も含め、ソリューションの提供、お取引先企業に対する経営アドバイス、経営改善計画策定支援など、経営改善・事業再生支援を実施し、引続き本部・営業店が一体となって恒久的な金融円滑化に取り組んでまいります。

金融再生法に基づく開示債権比率



金融再生法に基づく開示債権額比較



格付け

当行は、中立的な第三者による評価を取得し公表することで、投資家の皆さまやお取引先の皆さまに財務内容の健全性や収益性などについてご理解いただくため、平成18年10月に株式会社日本格付研究所(JCR)から長期優先債務^(※1)格付けを取得し公表しております。平成24年8月に見直しを行った結果、以下のとおり引き上げとなっております。

格 付 け ▶ **「BBB+」(トリプルBプラス)** [1ノッチ引上げ]

格付け見通し ▶ **「安定的」** [「ポジティブ」より変更]

(格付けの公表:平成24年8月27日)

※1 長期優先債務:格付対象会社の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。

利益配分に関する基本方針

当行は、銀行業としての公共性に鑑み、健全経営を確保するため内部留保の充実を図るとともに、安定的な配当に努めていくことを基本方針としております。

優先株式の配当 ▶ 当期の優先株式の配当につきましては、所定の配当をいたします。

普通株式の配当 ▶ 当期の普通株式の配当につきましては、見送らせていただくことといたしました。普通株式の株主の皆さまには、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

株主優待制度

日頃のご支援に感謝の意をこめて、ご優待制度の拡充に努めております。平成25年3月31日現在で千葉興業銀行の株式を100株以上所有されている個人・法人の株主さまを対象に「株主優待定期預金」の制度を引き続きお取扱いたします。「さわやかハロー24」^(※2)ともども、ご利用いただけますようお願い申し上げます。

※2「さわやかハロー24」:当行の株主さまに無料で、健康や医療に関するご相談をベテランの医師などが電話でお受けするサービスです。健康・医療相談のほか、夜間・休日診療の医療機関ご案内、医療機関情報のご提供、介護などシルバー情報のご提供についてご利用いただけます。

地域コーナー

地域のお客さまとのお取引の状況

当行では預金の大半を地域のお客さまからお預かりしております。

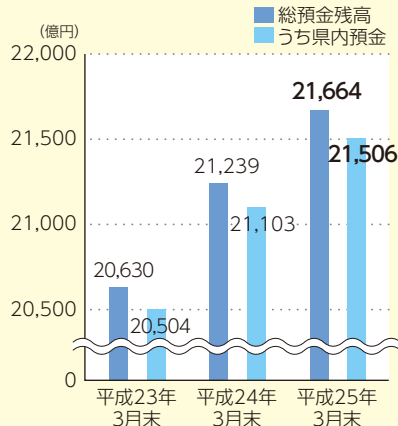
そしてこの大切な預金を県内の企業や個人のお客さまへの貸出しに向けております。

また、平成25年3月末の県内保証協会保証付貸出金は11,171件の1,425億円となっております。

(注) 当行は主要な営業地域を千葉県内としておりますので、千葉県内の営業店舗の合計計数を「県内」計数として表示しております。

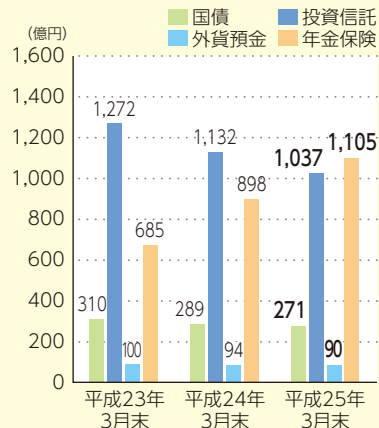
預金残高等

※預金残高には譲渡性預金を含めております。

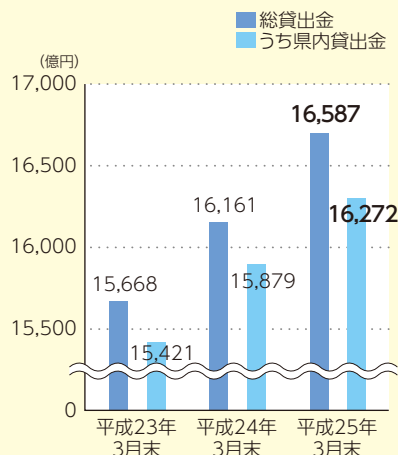


預り資産残高

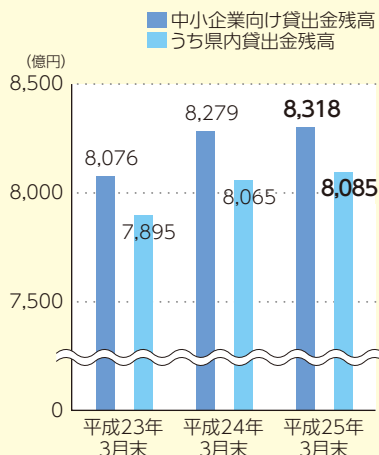
平成25年3月末の預り資産の大半が県内での預り資産です。



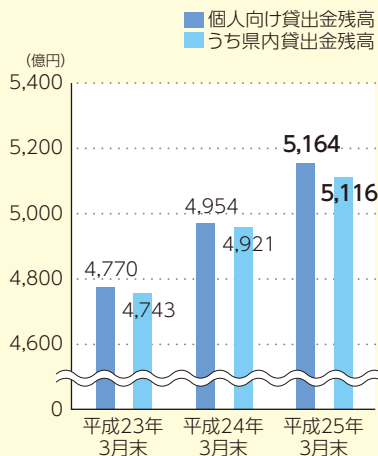
貸出金残高等



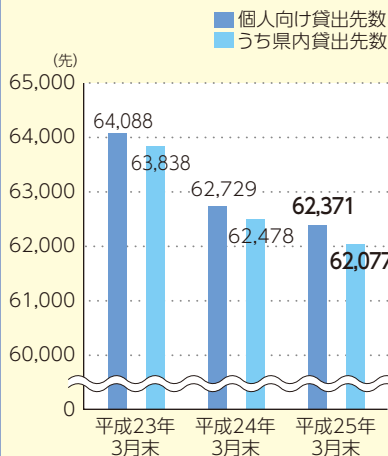
中小企業向け貸出金残高等



個人向け貸出金残高等

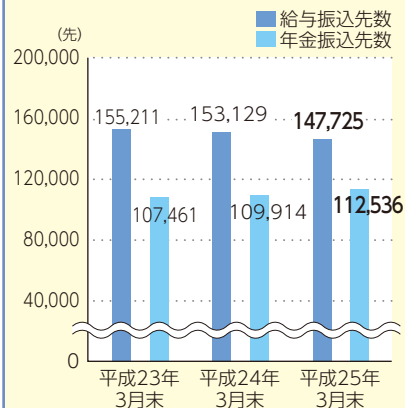


個人向け貸出先数等



給与振込・年金振込の口座数

給与振込や年金振込などについても、多くのお客さまのご利用をいただいております。



業種別貸出金残高

当行は、それぞれの業種において、資金供給者として重要な役割を担っています。

(単位:億円)

業種	平成25年3月末	
	貸出金残高	うち県内向け
製造業	1,695	1,639
農業、林業	47	47
漁業	0	0
鉱業、採石業、砂利採取業	27	27
建設業	808	806
電気・ガス・熱供給・水道業	67	67
情報通信業	82	81
運輸業、郵便業	633	627
卸売業、小売業	1,820	1,784
金融業、保険業	518	517
不動産業、物品賃貸業	3,718	3,564
各種サービス業	1,726	1,714
地方公共団体	276	276
その他	5,164	5,116
合計	16,587	16,272

地域活性化への取組み

「がんばろう！千葉 おいしい食べもの直売会『千産千商2012』」開催

当行が聖徳大学短期大学部と締結している、産学連携協定に基づく活動のひとつであり、同校学園祭にて実施いたしました。今回で3回目の取組みとなります。

当日は、聖徳短大総合文化学科の学生が考案したアイデアを、当行取引先協力のもとに商品化し、聖徳ブランドのメロンパンとして、本学園祭で販売いたしました。

また、取引先企業が出展し、千葉県の魅力ある商品・食材を多くの方にご紹介いたしました。

平成24年11月3日・4日実施



「がんばろう千葉」キャンペーン ～「がんばろう千葉応援隊」に参加～

千葉県が実施する「がんばろう千葉」キャンペーンおよび「がんばろう千葉応援隊」の趣旨に賛同し、法人として応援隊に加入しており、千葉県経済の活性化を応援するための取組みを行っております。

- 「がんばろう千葉」キャンペーンについては、下記千葉県HPをご参照ください。
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kouhou/miryoku/ganbaro/index.html>



地域密着型金融の取組み・関東財務局より顕彰状授与

当行の医療・アグリビジネス分野を含めた取組みが高く評価され、関東財務局より「平成23年度地域密着型金融に関する取組みへの顕彰状」をいただきました。関東財務局が、地域金融機関の地域密着型金融の取組みを進化・定着させることを目的に、管内金融機関の取組みを評価し優良な金融機関を顕彰するものです。

当行は今後も、地域活性化と地元企業の成長を支援するさまざまな取組みを続けてまいります。

平成24年4月12日顕彰状授与



中小企業育成への取組み

「千葉元気印企業大賞」

平成7年度より、フジサンケイ ビジネスアイ(日本工業新聞社)との共催で、千葉県の活気あふれる中小企業・ベンチャー企業の表彰を通じて地域企業の発展を支援しております。



次世代経営者育成への取組み

ちば興銀「経営塾」

ちば興銀「経営塾」は、地元企業育成支援・後継経営者育成支援の取組みのひとつとして、平成16年9月に設立されました。幅広い視点で経営を捉えていただくための視察会やセミナーを定期的に開催し、これまでに100名を超える塾生に学びの場を提供しております。

平成25年5月より、第五期生の活動がスタートいたしました。



次世代育成への取組み

県内企業初！「スポーツ・プロジェクト」に協賛

県内在住の小学生を対象とした少年野球教室「SPOTS PROJECT (スポーツ・プロジェクト)」が開催され、当行は、千葉県内企業として初めて協賛いたしました。

今後も県内の開催に継続して協賛していく予定です。

※スポーツ・プロジェクト：元千葉ロッテマリーンズ選手の黒木氏・小宮山氏が中心となり、全国の小・中学生を対象に開催している野球教室で、技術指導だけではなく、コミュニケーションや思いやりの大切さを伝える心の教育をめざしています。

平成24年12月15日実施



次世代育成への取組み

「エコノミクス甲子園千葉大会」の開催

高校生を対象とした全国高校生金融経済クイズ選手権(エコノミクス甲子園)千葉県大会を開催いたしました。クイズを通して、将来必要となる金融知力を伸ばすきっかけとするためのイベントで、金融経済教育の普及を図るためにNPO法人金融知力普及協会が実施しております。千葉県内では4回目となり、従来同様、当行と千葉銀行と共同で主催いたしました。

(後援:千葉県・千葉県教育委員会・千葉県金融広報委員会)

平成24年12月16日実施



「子育てお母さん応援講座」開催 ～仕事と子育ての両立～

千葉県が推進する「女性の再就職支援」事業の中の一部講座を当行が担当し、再就職をめざす県内の女性を対象に開催いたしました。「職場見学」や「従業員との懇談」等を通して、職業理解の機会を提供し、仕事と子育ての両立をめざす県内の女性の再就職を応援しております。

平成25年3月15日実施

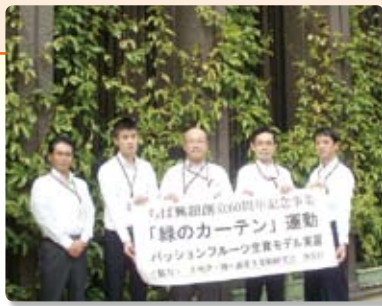


環境への取組み

「緑のカーテン運動」の実施

創立60周年記念事業の一環として、「緑のカーテン運動」(*)を展開しております。平成24年度は本店で活動を開始し、本店役職員を中心に壁面緑化のモデル実習として、パッションフルーツの栽培を行いました。平成25年度以降、一部営業店にて実施しております。

※「緑のカーテン運動」:光合成によるCO₂の吸収を図るとともに、夏の強い日差しを遮り、空調負荷の低減をめざす壁面緑化運動により、地域の皆さまとともに、環境にやさしい街づくりを支援する活動です。



文化・スポーツ活動

コスモスコンサートの開催

毎年6月、「千葉県民の日」を祝し、地元の皆さまにクラシック音楽に親しんでいただけるよう、JR千葉駅前広場にて、県立千葉女子高等学校オーケストラ部によるミニコンサートを19年連続で開催しております。



「コスモスセミナー」の開催

「千葉県に関する知識・情報をお客さまと共有する」をコンセプトに、無料公開講座を毎年開催しご好評をいただいております。第15回は「房総の縄文土器」をテーマに開催し、約70名のお客さまが受講されました。



各種スポーツ大会・文化活動への貢献



当行と千葉県ゲートボール連盟との共催による「千葉興業銀行杯親善ゲートボール大会」を23年連続で開催しております。

平成24年10月開催の大会では、県内ゲートボール愛好家58チーム315名の方にご参加いただきました。

その他、千葉県体育協会や千葉県障がい者スポーツレクリエーション協会、千葉県文化振興財団等への協賛・協力も行っております。

「ちばアクアラインマラソン」に協賛

平成24年10月開催の「ちばアクアラインマラソン」に、オフィシャルスポンサーとして協賛いたしました。当行行員もランナーとして参加し、また、当行清見台出張所の駐車場を応援イベント会場として提供するなど、県を挙げた一大イベントへ協力いたしました。



社会奉仕活動

「小さな親切」運動の推進

当行は、33都道府県が参加する全国的組織「小さな親切」運動の千葉県本部として、県内の運動推進に努めております。「小さな親切」を実行した人に贈られる「実行章」は、千葉県内で平成24年度(4月～3月)において2,391名が受章されました(累計311千人以上)。当行行員は全員会員登録しており、地域のボランティア活動や寄付・募金活動を実施しております。



地域交流活動への積極的参加

例年、春の県下一斉ゴミゼロ運動に行員・スタッフ及びその家族がボランティア参加しております(全部室店参加 総数1,049名)。

また、国道14号・357号沿線の12企業・団体で組織される「国道をきれいにする会」に参加し、毎月沿道の清掃を実施するほか、各地域の環境美化活動にも積極的に参加しております。



交通安全意識を啓蒙

当行と千葉日報社が共同で設立した「コスモス交通安全協力会」より、県内新中学一年生へ地域ごとにスポークライト(自転車事故防止用反射板)を毎年贈呈しております(18年間で延べ221,900個)。

また、県の交通安全推進委員会が推進する交通安全運動期間に、交通安全リボンを全行員・スタッフが着用し、交通安全意識の啓蒙に努めております。



寄付活動

行員やお客さまから集めた不要衣料品を千葉県民間病院協会会員である柏戸病院と千葉みなと病院へ寄贈しております。また、全店から集めた古切手・使用済テレカ等は、千葉市社会福祉協議会ボランティアセンターへ寄贈しており、車椅子購入やボランティア活動資金として利用されております。

当行役職員による募金活動「ともしびの会」より、年末に県内の養護施設等へ浄財を寄付しております(36年間で延べ331施設4,079万円)。



商品・サービスの拡充

HPを全面リニューアル！

お客さまによりわかりやすく、使いやすいホームページとするため、平成24年4月より全面リニューアルを行いました。各商品・サービスページの内容を充実させ、トップページには年代別のお金に関する悩みにお答えする「お金の心配!相談室」や「シニアの実用書(資産運用編)」等、おすすめコンテンツを掲載しております。スマートフォンでご利用いただける専用ページもご用意いたしました。

お客さまにとってより良いホームページとなるよう、今後もさらなる内容の充実を図ってまいります。



県内金融機関初！『チーバくん』を活用した子育て応援事業へ協賛！

子育て支援の一環として、「千葉県安心こども基金」に対し寄付を行いました。当行とメットライフアリコ生命とが共同で行う社会貢献活動であり、半年ごとに両社が、対象商品の販売件数に対して一定金額を寄付してまいります。本取組みは、県内金融機関として初めて、「チーバくん」を活用した子育て応援事業への協賛事業として、千葉県からの承認を受けております。

平成24年10月30日寄付金贈呈



(左から)
メットライフアリコ生命保険株式会社・
平野執行役員副会長、当行青柳頭取、森田千葉県知事



お客さまにやさしい店づくり ～快適にご利用いただくために～

当行では、カラーユニバーサルデザイン認証を取得した「新型受付番号表示機」(*)や、さまざまなお客さまが操作しやすいように設計されたユニバーサルデザインのATMを全店に設置するなど、お客さまにやさしい店づくりをすすめております。

(※)色覚の個人差を問わず、多くの方に見やすい白文字表示を採用した「新型受付番号表示機」

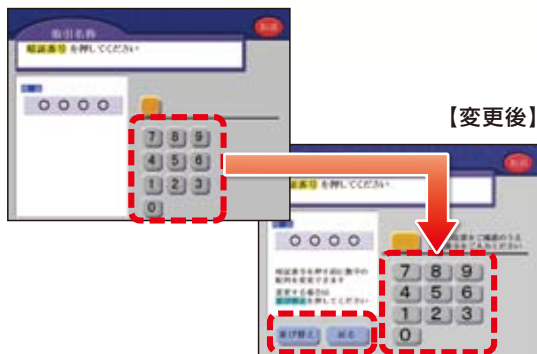
平成24年度は、お客さまにより一層快適に、安心してご利用いただけるよう、ATMの機能拡充や通帳の仕様改善等を行いました。

当行は、これからもお客さまにご利用しやすく、やさしい店づくり・サービスの導入をすすめてまいります。

全ATMのセキュリティ強化&操作性向上!

指の動きから暗証番号を読み取られる危険性を防止するため、暗証番号の入力時に数字ボタンの配列が変更できる『並び替え』の機能を追加し、また、数字ボタンを従来の1.5倍程度拡大することで、払出金額の入力や振込時における口座番号入力など、高齢のお客さまにもボタン操作が容易に行えるよう仕様を変更いたしました。

【変更前】



『Hi-Co通帳』取扱い開始!

磁気ストライプを高抗磁力化した通帳『Hi-Co通帳』(*)の取扱いを開始いたしました。

旧来の通帳は、日常生活の何らかの要因(バッグの留め金磁石、携帯電話やパソコン等電子機器の磁力等)で磁気ストライプが壊れ、通帳記帳ができなくなることがあります。近年、電子機器の普及・高性能化等、身の回りの磁力が増大することで通帳の磁気が壊れる機会も多くなってきていると思われることから、より快適に当行をご利用いただけるよう、磁気不良になりにくい新通帳を導入いたしました。

平成25年1月22日

【通帳イメージ】

表



裏



Hi-Co通帳

※Hi-Co…Hi-Coercivity(高抗磁力)の略。この通帳は外部からの磁気の影響を受けにくい通帳です。

エコ(eco)でやさしい店づくり

3つのコンセプト(「お客さまにやさしい」・「地域にやさしい」・「環境にやさしい」)に基づき、「エコ(eco)でやさしい店づくり」をテーマとして、これまで以上にご利用いただきやすい店舗づくりをすすめております。

完全個室の相談ブースや365日稼働の全自動貸金庫、視覚障がいのお客さまにも配慮した「音声標識ガイドシステム」(音声で店舗へ誘導)や点字ブロックなどを設置するほか、太陽光街路灯やLED照明、温室効果ガス削減のためのカーボンオフセット認証カーペットなど、環境配慮型の部材を採用しております。

当行は、これからもお客さまの視点に立ち、サービスと利便性の向上に努めてまいります。

佐原支店・新築移転！

店舗老朽化に伴い、より来店しやすい立地となるJR佐原駅南口前へ移転開店いたしました。風力と太陽光の2つのクリーンエネルギーを利用したハイブリット街路灯を設置しております。

また、ATMコーナーには佐原の町並みを描き、ショーウィンドーには伝統的な地元の祭りをテーマとしたポスターを掲示するなど、地域の皆さまとの交流を広くアピールいたしました。

平成24年9月18日



成田支店・新築開店！

成田山新勝寺参道の景観にマッチするよう、「蔵」をイメージした外観の店舗としております。日除幕には行名を英語表記し、店舗外観とともに海外の観光客からも注目いただけるものと考えております。

また、成田山新勝寺は市川團十郎との縁が深いことから、店内各所に「市川團十郎家の歌舞伎絵」を配しております。

平成24年11月26日



財務諸表

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第91期末(平成25年3月31日現在) 貸借対照表

(資産の部)		金額	(負債の部)		金額
現金預け金	40,489	預金	2,161,259		
現金	17,967	当座預金	49,445		
預け金	22,522	普通預金	1,040,558		
コールローン	80,000	貯蓄預金	27,595		
買入金銭債権	8,507	通知預金	4,610		
商品有価証券	132	定期預金	1,024,786		
商品国債	30	定期積金	6		
商品地方債	101	その他の預金	14,256		
有価証券	541,496	譲渡性預金	5,170		
国債	184,435	借用金	10,500		
地方債	63,790	借入金	10,500		
社債	210,377	外国為替	24		
株式	23,229	外国他店預り	3		
その他の証券	59,663	売渡外国為替	21		
貸出	1,658,746	その他負債	9,483		
割引手形	9,956	未払法人税等	760		
手形貸付	65,911	未払費用	1,876		
証書貸付	1,425,398	前受収益	1,030		
当座貸越	157,479	給付補填備金	0		
外国為替	2,169	金融派生商品	633		
外国他店預け	1,343	リース債務	1,945		
買入外国為替	656	その他の負債	3,237		
取立外国為替	169	退職給付引当金	5,992		
その他資産	8,510	役員退職慰勞引当金	86		
前払費用	0	睡眠預金払戻損失引当金	698		
未収収益	2,251	支払承諾	18,908		
先物取引差入証拠金	3	負債の部合計	2,212,123		
金融派生商品	944	(純資産の部)			
その他の資産	5,310	資本金	57,941		
有形固定資産	20,263	資本剰余金	64,792		
建物	6,405	資本準備金	32,792		
土地	10,937	その他資本剰余金	32,000		
リース資産	1,945	利益剰余金	45,803		
建設仮勘定	50	利益準備金	3,291		
その他の有形固定資産	924	その他利益剰余金	42,512		
無形固定資産	2,392	繰越利益剰余金	42,512		
ソフトウェア	2,007	自己株式	△64		
その他の無形固定資産	385	株主資本合計	168,473		
繰延税金資産	17,256	その他有価証券評価差額金	8,274		
支払承諾見返	18,908	評価・換算差額等合計	8,274		
貸倒引当金	△10,001	純資産の部合計	176,747		
資産の部合計	2,388,871	負債及び純資産の部合計	2,388,871		

第91期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで) 損益計算書

(単位:百万円)	
科目	金額
経常収益	45,791
資金運用収益	32,141
貸出金利息	25,924
有価証券利息配当	5,879
コールローン利息	113
預け金利息	82
その他の受入利息	141
役員取引等収益	7,575
受入為替手数料	1,784
その他の役員収益	5,791
その他業務収益	3,609
外国為替売却益	750
商品有価証券売却益	1
国債等債券売却益	2,621
金融派生商品収益	234
その他の業務収益	0
その他経常収益	2,465
債権回収立金	1,492
株式等売却益	42
その他の経常収益	930
経常費用	35,613
資金調達費用	1,242
預金利息	1,123
譲渡性預金利息	3
コールマネー利息	0
借入金利息	112
その他の支払利息	1
役員取引等費用	3,487
支払為替手数料	353
その他の役員費用	3,134
その他業務費用	1,006
国債等債券売却損	72
国債等債券償還損	933
営業経費	24,998
その他経常費用	4,879
貸倒引当金繰入額	830
貸出金償却	1,614
株式等売却損	22
株式等償却	0
その他の経常費用	2,411
経常利益	10,177
特別損失	127
固定資産処分損	70
減損損失	57
税引前当期純利益	10,050
法人税、住民税及び事業税	550
法人税等調整額	1,235
法人税等合計	1,785
当期純利益	8,265

第91期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで) 株主資本等変動計算書

(単位:百万円)	
科目	金額
株主資本	
資本金	
当期首残高	57,941
当期変動額	—
新株の発行	16,000
新株の発行 資本剰余金の譲渡	△16,000
当期変動額合計	—
当期末残高	57,941
資本剰余金	
資本準備金	
当期首残高	32,792
当期変動額	—
新株の発行	16,000
新株の発行 自己株式の取得	△16,000
当期変動額合計	—
当期末残高	32,792
その他資本剰余金	
当期首残高	—
当期変動額	—
新株の発行 資本剰余金の譲渡	16,000
新株の発行 自己株式の取得	16,000
当期変動額合計	32,000
当期末残高	32,000
資本剰余金合計	
当期首残高	32,792
当期変動額	—
新株の発行	16,000
新株の発行 自己株式の取得	16,000
当期変動額合計	32,000
当期末残高	64,792
利益剰余金	
利益準備金	
当期首残高	3,007
当期変動額	—
剰余金の配当	283
剰余金の配当 自己株式の取得	283
当期変動額合計	3,291
当期末残高	6,298
その他利益剰余金	
繰越利益剰余金	
当期首残高	35,950
当期変動額	—
剰余金の配当	△1,703
剰余金の配当 自己株式の取得	8,265
当期変動額合計	6,561
当期末残高	42,512
利益剰余金合計	
当期首残高	38,957
当期変動額	—
剰余金の配当	△1,419
剰余金の配当 自己株式の取得	8,265
当期変動額合計	6,845
当期末残高	45,803
自己株式	
当期首残高	△64
当期変動額	—
自己株式の取得	△0
当期変動額合計	△0
当期末残高	△64
株主資本合計	
当期首残高	129,628
当期変動額	—
新株の発行	32,000
新株の発行 資本剰余金の譲渡	—
新株の発行 自己株式の取得	—
剰余金の配当	△1,419
剰余金の配当 自己株式の取得	△0
当期変動額合計	38,845
当期末残高	168,473
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
当期首残高	657
当期変動額	—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	7,616
当期変動額合計	7,616
当期末残高	8,274
評価・換算差額等合計	
当期首残高	657
当期変動額	—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	7,616
当期変動額合計	7,616
当期末残高	8,274
純資産合計	
当期首残高	130,285
当期変動額	—
新株の発行	32,000
新株の発行 資本剰余金の譲渡	—
新株の発行 自己株式の取得	—
剰余金の配当	△1,419
剰余金の配当 自己株式の取得	8,265
当期変動額合計	46,462
当期末残高	176,747

第91期末 (平成25年3月31日現在)
連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	40,493	預金	2,153,266
コールローン及び買入手形	80,000	譲渡性預金	5,170
買入金銭債権	8,507	借入金	21,563
商品有価証券	132	外国為替	24
有価証券	541,215	その他負債	14,293
貸出金	1,654,970	退職給付引当金	6,149
外国為替	2,169	役員退職慰労引当金	138
その他資産	29,048	睡眠預金払戻損失引当金	698
有形固定資産	20,204	支払承諾	22,766
建物	6,434	負債の部合計	2,224,072
土地	10,937	(純資産の部)	
リース資産	52	資本金	57,941
建設仮勘定	50	資本剰余金	64,792
その他の有形固定資産	2,729	利益剰余金	48,991
無形固定資産	2,784	自己株式	△64
ソフトウェア	2,332	株主資本合計	171,661
リース資産	63	その他の有価証券評価差額金	8,289
その他の無形固定資産	389	その他の包括利益累計額合計	8,289
繰延税金資産	17,715	少数株主持分	1,790
支払承諾見返	22,766	純資産の部合計	181,741
貸倒引当金	△14,193	負債及び純資産の部合計	2,405,813
資産の部合計	2,405,813		

第91期 (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)
連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	金額
経常収益	53,990
資金運用収益	31,775
貸出金利息	25,951
有価証券利息配当金	5,486
コールローン利息及び買入手形利息	113
預け金利息	82
その他の受入利息	141
役務取引等収益	8,387
その他業務収益	3,609
その他経常収益	10,217
償却債権立戻	1,514
その他の経常収益	8,703
経常費用	42,943
資金調達費用	1,391
預金利息	1,121
譲渡性預金利息	3
コールマネー利息及び売渡手形利息	0
借入金利息	255
その他の支払利息	9
役務取引等費用	2,498
その他業務費用	1,006
営業経費	25,255
その他経常費用	12,792
貸倒引当金繰入額	1,194
その他の経常費用	11,598
経常利益	11,046
特別損失	127
固定資産処分損	70
減損損失	57
税金等調整前当期純利益	10,918
法人税、住民税及び事業税	890
法人税等調整額	1,212
法人税等合計	2,102
少数株主損益調整前当期純利益	8,816
少数株主利益	141
当期純利益	8,675

第91期 (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)
連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
株主資本		その他の包括利益累計額	
資本金		その他有価証券評価差額金	
当期首残高	57,941	当期首残高	669
当期変動額		当期変動額	
新株の発行	16,000	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	7,620
自己株式の取得	△16,000	当期変動額合計	7,620
当期変動額合計	—	当期末残高	8,289
当期末残高	57,941	その他の包括利益累計額合計	
資本剰余金		当期首残高	669
当期首残高	32,792	当期変動額	
当期変動額		株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	7,620
新株の発行	16,000	当期変動額合計	7,620
自己株式の取得	16,000	当期末残高	8,289
当期変動額合計	32,000	少数株主持分	
当期末残高	64,792	当期首残高	1,602
利益剰余金		当期変動額	
当期首残高	41,735	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	187
当期変動額		当期変動額合計	187
剰余金の配当	△1,419	当期末残高	1,790
当期純利益	8,675	純資産合計	
当期変動額合計	7,255	当期首残高	134,678
当期末残高	48,991	当期変動額	
自己株式		新株の発行	32,000
当期首残高	△64	自己株式の取得	—
当期変動額		剰余金の配当	△1,419
自己株式の取得	△0	当期純利益	8,675
当期変動額合計	△0	自己株式の取得	△0
当期末残高	△64	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	7,807
株主資本合計		当期変動額合計	47,063
当期首残高	132,406	当期末残高	181,741
当期変動額			
新株の発行	32,000		
自己株式の取得	△1,419		
剰余金の配当	8,675		
当期純利益	8,675		
自己株式の取得	△0		
当期変動額合計	39,255		
当期末残高	171,661		

役員・株式の状況

役員 (平成25年6月27日現在)

取締役頭取・CEO	青柳	俊一
取締役副頭取・COO	梅村	星児
専務取締役・専務執行役員	星野	智史
常務取締役・常務執行役員	田中	宏
常勤監査役	安田	達央
常勤監査役	田仲	直樹
監査役	原口	秀夫
監査役	鈴木	伸弥

(注) 監査役原口秀夫氏および鈴木伸弥氏は、東京証券取引所有価証券上場規程第436条の2にいう独立役員であります。

株式の状況 (平成25年3月31日現在)

1 株式数

株式の種類	発行可能株式総数	発行済株式の総数
普通株式	296,000千株	50,722千株
第一回第一種優先株式	1,250千株	1,250千株
第二回第二種優先株式	5,000千株	5,000千株
第三回第三種優先株式	35,000千株	17,150千株
第四回第四種優先株式	7,500千株	6,400千株

2 株主数

普通株式	11,639名
第一回第一種優先株式	2名
第二回第二種優先株式	2名
第三回第三種優先株式	1名
第四回第四種優先株式	165名

3 大株主

株式の種類	氏名又は名称	持株数 (千株)	持株比率 (%)
普通 株式	株式会社みずほコーポレート銀行	4,791	9.45
	株式会社みずほ銀行	4,791	9.45
	明治安田生命保険相互会社	2,158	4.25
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,502	2.96
	坂本飼料株式会社	1,249	2.46
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,196	2.36
	株式会社損害保険ジャパン	1,088	2.14
	みずほ信託銀行株式会社	926	1.82
	千葉興業銀行行員持株会	760	1.50
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	650	1.28
第一回 第一種 優先株式	株式会社みずほコーポレート銀行	625	50.00
	株式会社みずほ銀行	625	50.00
第二回 第二種 優先株式	株式会社みずほコーポレート銀行	2,500	50.00
	株式会社みずほ銀行	2,500	50.00
第三回 第三種 優先株式	株式会社整理回収機構	17,150	100.00
	沖電気工業株式会社	300	4.68
	大成建設株式会社	300	4.68
	東京建物株式会社	300	4.68
	丸紅株式会社	300	4.68
	キッコーマン株式会社	200	3.12
	明治安田生命保険相互会社	200	3.12
	安田不動産株式会社	200	3.12
	株式会社ヤクルト本社	180	2.81
	株式会社クレックス	160	2.50
	芙蓉総合リース株式会社	160	2.50

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
 3. 普通株式の持株比率は自己株式(55,201株)を控除して、算出しております。

株式のご案内

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 配当受領
株主確定日 期末配当:毎年3月31日
中間配当:毎年9月30日
- 定時株主総会 毎事業年度終了後3か月以内に開催
- 基準日 定時株主総会については、毎年3月31日
その他必要あるときはあらかじめ公告する一定の日
- 単元株式数 100株
- 公告掲載新聞 東京都において発行する日本経済新聞
なお、決算公告につきましては、
当行ホームページの下記アドレスに
掲載いたします。
[http://www.chibakogyo-bank.co.jp/
toushi/ir/koukoku.html](http://www.chibakogyo-bank.co.jp/toushi/ir/koukoku.html)
- 株式事務取扱場所
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
本店 証券代行部

■ 単元未満株式の買取請求について

単元未満株式をご所有の場合、その単元未満株式を当社が買い取らせていただく制度(買取制度)がございますので、どうぞご利用ください。

特別口座に記録された株式の買取請求については、下記株主名簿管理人(特別口座管理機関)において受付けております。また、証券会社等の口座に記録された株式の買取請求については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

■ 特別口座株式のご売却について

特別口座にて管理されている単元株式を売却されるには、事前に証券会社等の口座を開設し、その後振替手続を行っていただく必要があります。お手続き等の詳細は下記株主名簿管理人(特別口座管理機関)にお問い合わせください。

株主名簿管理人(特別口座管理機関)

みずほ信託銀行株式会社

■ お問合せ先(郵便物送付先)

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324

株主様のご住所・お名前等に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等(いわゆる「外字」)が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。

このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。

株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。



〒261-0001 千葉市美浜区幸町二丁目1番2号

TEL.043-243-2111

<http://www.chibakogyo-bank.co.jp/>

